



衣笠地連協 かわらばん

平成 29年 1月 27日
第 7号

発 行 衣笠地域運営協議会
事務局 衣笠行政センター
☎ 046-853-1611

衣笠山公園に「忠犬タマ公」がやってくる！



村松公園のタマ公像

衣笠地区と新潟県五泉市は、衣笠山に設置されている「忠犬タマ公の碑」をご縁として、平成 14 年から活発な交流が続いています。

このたび、五泉市から「忠犬タマ公像」が寄贈されることになりました。

◆ 設置場所 衣笠山公園の中段広場「タマ公の木」前

◆ 完成時期 平成 29 年 3 月 23 日（木）

衣笠山の山開きに合わせて開催する衣笠観光協会主催の

「忠犬タマ公慰靈祭」においてお披露目を予定しています。

忠犬タマ公とは

1. 昭和 9 年と 11 年に二度にわたり雪崩で遭難した新潟県中蒲原郡川内村（後の村松町、現五泉市）の飼主（獵師）を助けたメスの柴犬のこと。
2. この活躍に感激した横須賀市内在住の海軍にゆかりのあった新潟県出身の人たちが、昭和 11 年 9 月、故小泉又次郎氏（第 13 代横須賀市長）に碑文の揮毫を依頼し、顕彰碑を当時の衣笠山公園入口に建立した。
3. その後、衣笠観光協会がより多くの人に「タマ公」を知らせるため、昭和 58 年に衣笠山公園の中段広場に碑を移設し現在に至る。その時の除幕式には、小泉純一郎元首相、村松町長も参加。
4. 平成 15 年 4 月には、五泉市内にある村松公園の忠犬タマ公像の脇に、小泉純一郎元首相揮毫の碑が完成。

タマ公物語

昭和の初め、早出川のほとり（旧川内村）の獵師の家に、柴犬のタマは生まれました。飼い主の刈田さんは、素直で賢いタマを可愛がり、獵に出掛ける時はいつも一緒です。元気に野山を駆け巡り、タマはりっぱな獵犬に育ちました。

昭和 9 年 2 月、刈田さんは獵仲間と、いつものよう にタマをお供に八瀧沢へでかけました。獵のため大きく鳴った銃声が衝撃となって雪がくずれ、ものすごい雪崩となって二人を襲いました。あっという間に雪に埋もれ、身動きもとれない刈田さん。上方でタマが雪を掘る音がします。「タマ～！ タマ～！」と懸命に呼びかけました。刈田さんの声に応えるように、雪を掘るタマ。ついに刈田さんの頭は雪の外へ……。タマは両足を血だらけにしながらも掘り続け、刈田さんは脱出することができました。

タマの活躍ぶりは新聞で報じられ、主人の命を救つ

た忠犬と褒めたたえられました。

それから約 2 年たった昭和 11 年 1 月、刈田さんはタマを連れ近所の人たちと狩りに行きました。その時、雪崩がみんなとタマを襲い、一瞬のち押し流されました。ゴロゴロと転がるタマ。でも、大好きな刈田さんを助けようと立ち上がって雪の上を探し回ります。重たい雪につぶされて、次第に気が遠くなってしまった刈田さん。「もうだめか」と死を覚悟した時……「ウーッ、ワンワンワン！」タマがまた助けにきてくれたのです。果敢に雪を掘るタマ。刈田さんは、またしても九死に一生を得ることができました。「本当にありがとうございます、タマ」刈田さんはタマに抱きつき、何度もほおづりました。

二度の殊勲をたて、タマは町の英雄になりました。そして今も、タマの主人思いで勇敢な行動は、新潟中の人々に語り継がれています。

（五泉市ホームページより抜粋）



活動報告

衣笠山公園サクラ樹勢回復部会の事業



部会では、地域の観光資源である衣笠山の桜を守り、育てるための活動に取り組み、公園管理者と協力した土壌改良やサクラの若木の植樹などを実施しています。

平成 28 年 10 月 20 日(木) 衣笠山公園中段広場において、衣笠小学校 6 年生 60 人が参加して、花の種を入れた「種団子」を作り、桜の根元に蒔きました。種団子は春の桜の時期を目指して花を咲かせ、これが桜の根を守る「花の柵」となります。踏み荒らしを防止する、将来にわたり桜を守るための活動です。



11 月には部会員により同じ広場にある桜の周辺に花苗を植えました。

活動報告

防災専門部会の事業

平成 27 年度の活動として、衣笠地区の全町内会、自治会を対象に地域防災に関するアンケートを実施しました。

この結果をもとに、地域防災の現状の課題・問題を把握し、専門部会で活発な議論を経て、主要課

題を次の 3 つの項目に絞り込み、それぞれの対応策について提言をします。

- 1 住民一人ひとりの防災意識の向上
- 2 地域防災力の向上と活性化対策
- 3 実践的な自主防災組織

提言は冊子にまとめ、衣笠地区の町内会・自治会にお配りします。この提言を踏まえ、ご自身の地区の弱いところ、強いところを読み解き、今後の防災活動の活性化に生かしてください。

衣笠地運協の 3 つの役割・3 本の柱

【3 つの役割】

衣笠地運協には、3 つの役割があります。

- ① 各地域活動団体の連携、ネットワーク化を図ります。
- ② 身近な課題の解決や暮らしやすく魅力あるまちづくりのための企画等を立案し、具体的な取組みを行います。
- ③ 地域の特性や実情に合ったまちづくりの実現に向けて、地域だけでは解決できない課題の対応策や地域に関わる市の施策に提案等を行います。

【3 本の柱】

衣笠地運協の事業は、3 本の柱があります。

- 柱 1 観光・商店街活性化に資する事業
- 柱 2 高齢者を中心とした福祉に関する事業
- 柱 3 地域防災の向上に関する事業



衣笠スカリン

本紙のご案内

地域住民が主体的に取組むための組織として設立された衣笠地域運営協議会（略称：衣笠地運協）の活動内容について地元のみなさまにご紹介するための広報紙です。

衣笠地運協

